令和６年１月１３日（日）　東奥日報

三戸高校放送局

# 母校の魅力 楽しく発信

## ＢｅＦＭでコーナー担当

## 来月から、毎月第1水曜日

八戸

八戸市のコミュニティーラジオ局ＢｅＦＭ（ビーエフエム）で2月から番組内コーナー「三戸高校放送局の『おもて話ウラ話』」を同高校の部員が担当することになり10日、部員2人が生放送の「ゆうらじ！Ｈａｃｈｉｎｏｈｅ」にゲスト出演し、スタートに向けた抱負を語った。（珍田秀樹）

ゲスト出演したのは2年生の畠山紗那香さん（17）と1年生の上田和奈さん（16）。ゆうらじ！パーソナリティーの大村麦子さんと約15分、「三戸高校の魅力を楽しくみんなに発信できれば」「高校生の視点で伝えていきたい」などと新コーナーへの抱負を話し、スタジオの中でコーチを務める田中康勝さん（52）が見守った。

三戸高校放送局には現在2年生5人、1年生1人が所属、2月3日に盛岡市で行われる東北高校放送コンテストに6年連続15回目の出場が決まっている。同放送局は岩手県二戸市の「カシオペアＦＭ」でも番組を担当しており、田中コーチは「高校生が二つのＦＭ局でコーナーや番組を持っているのは全国でも珍しいのでは」と話す。

出演を無事に終えた畠山さん、上田さんはほっとした様子。「将来的に声を仕事に生かせれば」という畠山さん、「ラジオパーソナリティーを目指している」という上田さんと目指す方向は異なるものの、県立高校再編の実施計画に伴い、県外から生徒を受け入れる全国募集導入校となった母校について「多くの人に知ってもらいたい」と声をそろえる。

「三戸高校放送局の『おもて話ウラ話』」は部員が入れ替わりながら担当し、毎月第1水曜午後5時半から15分間オンエアされる。

▲ＢｅＦＭのスタジオで、コーナー開始に向けゲスト出演する（右から）上田さん、畠山さん、田中コーチ